

Cochlear™

True Wireless™ アクセサリ

取扱説明書

*Hear now. And always*



Cochlear™

## 記号



### 注記

重要な情報や便利なヒント

---



### ヒント

効率的にお使いいただくためのヒントです。

---



### 注意 (無害)

安全かつ有効にお使いいただくための注意事項です。  
機器が破損する恐れがあります。

---



### 警告 (有害)

安全上の問題、または重篤な有害反応が起こる可能性があります。  
人体に有害となる恐れがあります。

---

本書では、Cochlear™ (コクレア®) True Wireless™ アクセサリを Cochlear 人工内耳システムの構成部品と組み合わせて使用方法について記載しています。

本書および本書の中で言及する他の取扱説明書をよく読み、これらのアクセサリを、お使いの人工内耳システムとともに使用方法についてご確認ください。

# 目次

本書について.....	5
ワイヤレスアクセサリ.....	5
はじめに.....	6
ミニマイクロホン 2 とミニマイクロホン 2+.....	7
動作特性.....	8
使用準備.....	9
ミニマイクロホンの電源のオン/オフ.....	10
手順 1:ミニマイクロホンのペア設定.....	11
手順 2:ミニマイクロホンから音声をストリーミングする.....	12
ミニマイクロホンを使用する.....	15
テレビストリーマー.....	20
動作特性.....	20
手順 1:テレビストリーマーのペア設定.....	21
手順 2:テレビストリーマーから音声をストリーミングする.....	23
フォーンクリップ.....	27
動作特性.....	27
フォーンクリップの充電.....	28
手順 1:フォーンクリップのペア設定.....	29
手順 2:フォーンクリップの使用.....	31
複数のアクセサリの使用.....	33
アクセサリのミキシング比率の 変更.....	35
ワイヤレスマイクロホンの性能確認.....	36
お手入れとメンテナンス.....	38
ワイヤレスアクセサリのお手入れ.....	38
内蔵電池のお手入れ.....	38
充電器のお手入れ.....	39
保証.....	40
認証.....	40
注意.....	41



# 本書について

本書は、Cochlear Nucleus® (コクレア・ニュークレアス) CP900 シリーズ サウンドプロセッサを使用する Cochlear™ (コクレア®) 人工内耳装用者を対象としています。本書は、お使いのサウンドプロセッサ、リモートアシスタント、およびリモートコントロールの取扱説明書と合わせてお読みください。

また、本書は、ワイヤレスアクセサリに同梱された取扱説明書と併せて使用する必要があります。

本書では、Cochlear True Wireless アクセサリの設定および使用方法について説明します。新しいアクセサリの設定を行う前に、次のセクション「ワイヤレスアクセサリ」をお読みください。各アクセサリの機能に加えて、アクセサリの初期設定に必要な 2 つの主な手順を説明しています。

## ワイヤレスアクセサリ

Cochlear True Wireless アクセサリは、オーディオ機器の音声をサウンドプロセッサにワイヤレス送信することにより、Cochlear システムの性能を向上させます。

- **Cochlear Wireless Mini Microphone (ミニマイクロホン)** には、シンプルで目立たない 1 対 1 コミュニケーションの聞こえを提供するオプションやノイズが多く聴き取りが難しい状況向けの汎用機能が用意されています
- **Cochlear Wireless TV Streamer (テレビストリーマー)** は、テレビ、サウンドシステム、またはコンピュータから音声を直接送信します
- **Cochlear Wireless Phone Clip (フォンクリップ)** は、携帯電話、音楽プレーヤー、ナビゲーションシステムなどの Bluetooth® 機器にワイヤレスに接続します。



### 注意

ワイヤレスアクセサリの使用に関連する注意事項については、「注意」(41 ページ)を参照してください。

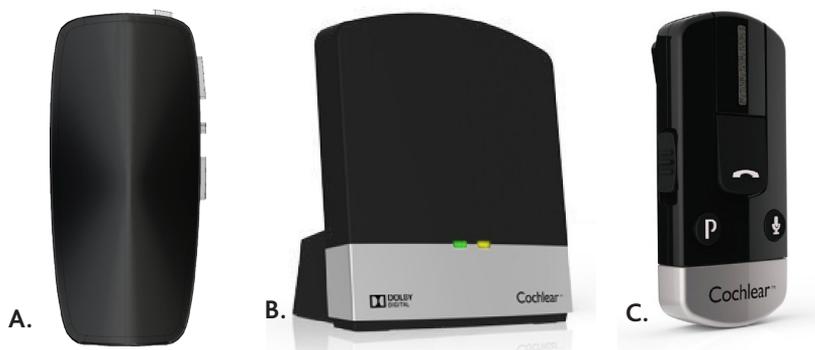


図 1: (A) ミニマイクロホン (B) テレビストリーマー (C) フォーンクリップ

## はじめに

初めてワイヤレスアクセサリを使用する場合は、ペア設定とストリーミングの2つの手順を行ってください。

### 手順 1: ペア設定

ワイヤレスアクセサリとサウンドプロセッサ (両側装用の場合は2台とも) をペア設定して、通信できるようにします (この設定は初回のみ必要です)。

### 手順 2: ストリーミング

ストリーミングを使用すると、ワイヤレスアクセサリからサウンドプロセッサに音声を送信できます。

# ミニマイクロホン2と ミニマイクロホン2+

Cochlear Wireless Mini Microphone 2 (ミニマイクロホン) および Cochlear Wireless Mini Microphone 2+ (ミニマイクロホン2+) (以降、ミニマイクロホン) では、サウンドプロセッサに音声を直接ストリーミングすることができます。ミニマイクロホン2+にはその他にも機能があります。



図 2: ミニマイクロホン

## 動作特性

特性	値/範囲	ミニマイクロホン	
		2	2+
1対1の会話	最大 25 m の動作範囲	✓	✓
フル充電時の最長会話可能時間	約 10 時間	✓	✓
接続が失われた場合の再接続可能時間	5 分	✓	✓
音量ロック		✓	✓
ミュート機能		✓	✓
内蔵された落下検知機能	落下の高さ > 75 cm で最大 2 秒間出力をミュート	✓	✓
多目的機能	テーブルマイク、ラインイン、誘導ループ、および FM 信号		✓

## 使用準備

### ミニマイクロホンの充電

ミニマイクロホンを初めて充電する場合は、ランプがフル充電を示していても、3 時間以上充電してください。

ミニマイクロホンを充電するには:

1. マイクロ USB 充電ケーブルをミニマイクロホンに差し込みます。
2. 付属のアダプタを使用して、ケーブルのもう片方の端を電源コンセントに差し込みます。

充電中は、LED ランプが赤色に点灯します。

完全に充電されると (かつ充電器に接続したままの場合)、LED が赤く点灯して 2 秒ごとに緑色に光ります。

電池残量が少ない場合、ステータスインジケータ LED が 1 秒ごとに黄色く点滅します。

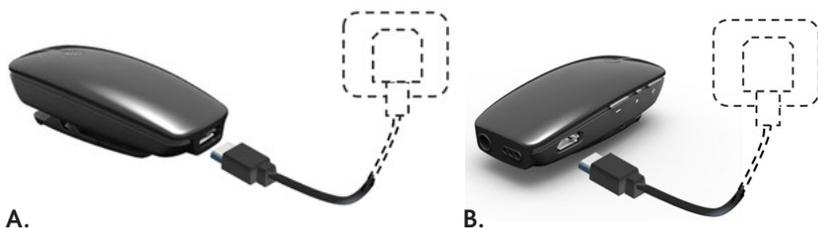


図 3: 充電中の (A) ミニマイクロホン 2 (B) ミニマイクロホン 2+

#### アドバイス

使用していない時は、ミニマイクロホンの電源を切り、充電しておいてください。電池駆動時間 (音声通信可能時間) は 10 時間です。



## ミニマイクロホンの電源のオン/オフ

ミニマイクロホンの電源を**入れる**には:

1. LED が緑に変化するまで、**オン/オフ** ボタンを **2 秒間** 長押しします。
2. **オン/オフ** ボタンを離します。LED が 2 秒ごとに緑色に点滅します。



ミニマイクロホンの電源を**切る**には:

1. ストリーミングを停止してから、ミニマイクロホンの電源を切ってください。
2. LED が赤に変化するまで、**オン/オフ** ボタンを長押しします。

## 手順 1: ミニマイクロホンのペア設定

最初に、ミニマイクロホンとサウンドプロセッサをペア設定して、通信できるようにします。

ミニマイクロホンをペア設定するには:

1. サウンドプロセッサを取り外します。
2. サウンドプロセッサの電源を**切ります**。(両側装用の場合は、2 台とも。)
3. LED が緑色に変わるまで、ミニマイクロホンの **オン/オフ** ボタンを **2 秒間** 長押し、ミニマイクロホンの電源を**入れます**。
4. ペンを使用して、ペア設定ボタンを 1 回押します。ミニマイクロホン上部の LED ランプが 20 秒間 2 秒ごとに黄色に点滅します。ミニマイクロホンとサウンドプロセッサをペア設定するには、この 20 秒間にサウンドプロセッサの電源を入れてください。(両側装用の場合は、2 台とも。)
5. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。正常にペア設定されると、青色の表示ランプ  が短く点滅します。
6. ここで、サウンドプロセッサを元に戻します。

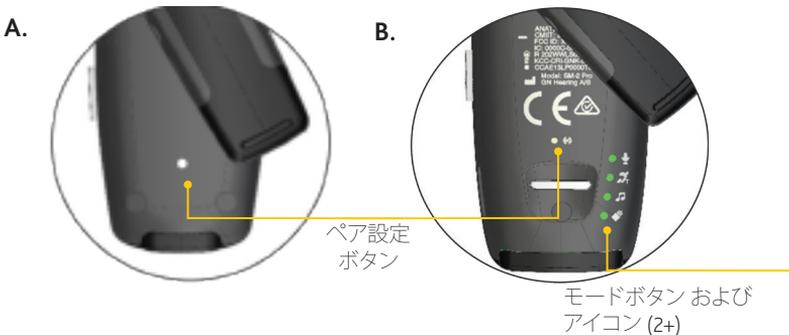


図 4: (A) ミニマイクロホン 2 (B) ミニマイクロホン 2+

### アドバイス

ペア設定後にサウンドプロセッサを装着しないと、ランプの青色の点滅がオレンジ色に変わります。

## 手順 2:ミニマイクロホンから音声をストリーミングする

ミニマイクロホンからの音声を聞くには、音声をストリーミングする必要があります。

これを行う方法は3つあります。

- オプション 1:リモートアシスタントを使用する
- オプション 2:リモートコントロールを使用する
- オプション 3:サウンドプロセッサを使用する

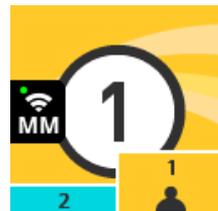
ストリーミングが有効になると、3音のチャイムが鳴るかライトが点滅し(サウンドプロセッサにより異なります)、その後ストリーミングされた音声が出力されます。

ストリーミングが停止するときには、短いアラーム音が鳴ります。サウンドプロセッサは直前に使用していたプログラムに戻ります。

### オプション 1:リモートアシスタントを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。
2. リモートアシスタントの電源を**入れます**。ホーム画面が表示されます。
3. ミニマイクロホンの電源を**入れます**。
4. リモートアシスタントでストリーミングを開始するには、以下の2つの方法があります。
  - **方法 1:**テレコイルボタンを2秒間**長押ししてから離します**。

以下のようにミニマイクロホンのアイコンが**ホーム**画面に表示されます。



- **方法 2:ホーム**画面が表示されている状態から、**[ストリーミング]** 選択画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。使用するチャンネルまで一覧を下にスクロールして **OK** を押します。
5. ストリーミングを停止するには、以下のいずれかを実行します。
- テレコイルボタンを**短く押す**か
  - **[ストリーミング]** 選択画面で **[オフ]** を選択してから、**OK** を押します。



### ヒント

使いやすさの点から、リモートアシスタントを使用してストリーミングすることをお勧めします。



## オプション2: リモートコントロールを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を入れます。
2. リモートコントロールの電源を入れます。
3. ミニマイクロホンの電源を入れます。
4. テレコイルボタンを2秒間**長押し**してから離します。
5. ストリーミングを停止するには、テレコイルボタンを**短く押し**ます。



### アドバイス

画面の機能は製品間で異なることがあります。製品固有の詳細については、機器に付属の取扱説明書を参照してください。



## オプション 3: サウンドプロセッサを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。
2. ミニマイクロホンの電源を**入れます**。
3. サウンドプロセッサのボタンを 2 秒間**長押ししてから離します**。サウンドプロセッサのランプが青色に🌅点滅し、ストリーミング中であることを示します。

**注記:** サウンドプロセッサにボタンが 2 つある場合、上側のボタンを押してください。

4. ストリーミングを停止するには、サウンドプロセッサのボタンを**短く押します**。

### アドバイス

ボタンが 2 つあるサウンドプロセッサの場合、ワイヤレスアクセサリを使用するには上側のボタンを使用します。



## ミニマイクロホンを使用する

### 1対1の会話

ミニマイクロホンは、話者の口元から 10～40 cm 以内の位置にクリップでマイクロホンを縦向きに留めて装着します。ミニマイクロホンを使用することで、背景雑音を最小限に抑えた 1 対 1 の直接コミュニケーションが可能になります。

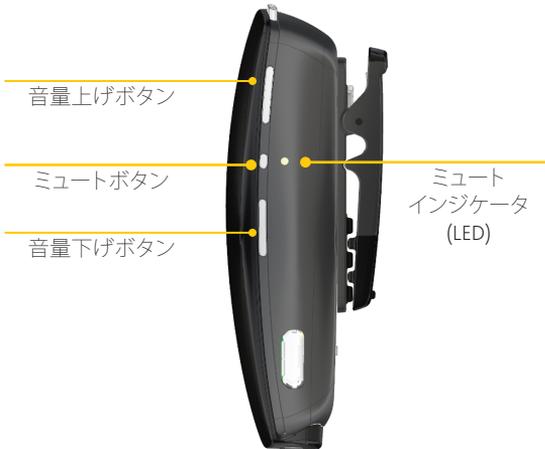
**注記:** この方法で装着するときは、ミニマイクロホンのステータスインジケータ LED が話者の口を向くように位置を調整してください。

### テーブルマイクロホンとして使用する (2+ のみ)

テーブルに水平に置くと、ミニマイクロホン 2+ は、1 対 1 コミュニケーション用の指向性モードから複数の話者の音声を拾い上げる無指向モードに自動的に切り替わります。

## ミニマイクロホンのテスト

ミニマイクロホンを軽くたたか息を吹きかけて、ストリーミングしているかどうかテストします。最初に何も聞こえない場合は、ミニマイクロホンの音量を上げてください。



## 音量調整

### 音量の調整

音量を変更するには、ミニマイクロホンの側部にある音量調整を使用します。

### 音量のミュート

ミニマイクロホンからの信号をミュートできます。たとえば、装用者がユーザーに関係のない会話を聞こえないようにすることができます。

信号をミュートするには、ミュートボタン (音量調整の間にあります) を1回押します。ミュートLEDが黄色く点滅します。ミュートを解除するには、もう一度押します。ミュートLEDの点滅が停止します。

## 音量のロック

音量調整を一定のレベルでロックできます。音量をロックすると、ミニマイクロホンの電源を前回切ったときのレベルに固定されます。

音量をロックするには:

1. ミニマイクロホンのストリーミング中に音量を目的のレベルに調整します。
2. ミニマイクロホンの電源を**切ります**。
3. 音量の [-] ボタンと**オン/オフ** ボタンを**長押し**します。
4. ステータスインジケータ LED が緑色に変わったら、音量の [-] ボタンを押したまま、**オン/オフ** ボタンを**離します**。
5. そのまま音量の [-] ボタンを約 10 秒間押し続け、ステータスインジケータ LED が緑-黄-赤の順に点灯するまで待ちます。

これで音量レベルがロックされ、ミニマイクロホンの電源を入れ直してもこのレベルに維持されるようになりました。ステータスインジケータ LED は、2 秒ごとに 2 回短く光ります。

音量をロックしたままでも音声をミュートすることはできます。

**音量のロックを解除するには:**

1. ミニマイクロホンの電源を**切ります**。
2. 音量の [+] ボタンと**オン/オフ** ボタンを**長押し**します。
3. ステータスインジケータ LED が緑色に変わったら、音量の [+] ボタンを押したまま、**オン/オフ** ボタンを**離します**。
4. そのまま音量の [+] ボタンを約 10 秒間押し続け、ステータスインジケータ LED が緑-黄-赤の順に点灯するまで待ちます。

これで音量レベルのロックが解除され、必要に応じて調整できるようになりました。

## その他の機能 - ミニマイクロホン 2+

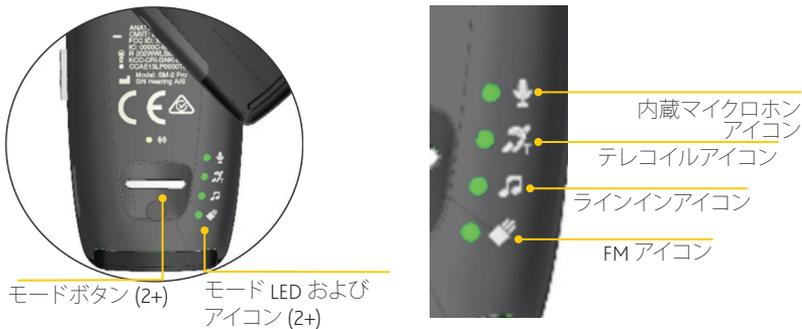
ミニマイクロホン 2+ には、オーディオ機器への拡張接続オプションが用意されています。以下の方法で話し声と音声をストリーミングできます。

- 内蔵マイクロホンから
- 内蔵テレコイルから、誘導ループシステムから音声を受信する
- 3ピンユーロピンコネクタで取り付けした外部 FM 受信器から
- ラインインコネクタで接続した外部アナログ源 (PC、ラップトップ、テレビなど) から

### モードボタンの使用

モードボタンは、現在のモードの表示、各入力モードの切り替え、電池残量の確認に使用します。

現在の動作モードを表示するには、モードボタン(ミニマイクロホン 2+ の裏側にあります)を1回押します。対応するLEDが2秒間光ります。



**動作モードを変更するには、以下の手順を実行します。**

1. モードボタンを1回押します。現在のモードに対応するモードLEDが点灯します。
2. 3秒以内にモードボタンをもう一度押すと、モードが変更されます。
3. 目的のモードになるまで手順2を繰り返します。
4. 3秒後にLEDが消えてから新しいモードが完全に使用可能になります。

モード機能の詳細については、ミニマイクロホン2+に付属の取扱説明書を参照してください。

**電池残量表示**

現在の電池残量を表示するには、モードボタンを約3秒間または1つ以上のモードLEDが点滅を開始するまで長押しします。

電池残量	LED ステータス
75～100%	すべてのモードLEDが点滅
50～75%	3つのモードLEDが点滅 (FM+ラインイン+テレコイル)
25～50%	2つのモードLEDが点滅 (FM+ラインイン)
25% 未満	1つのモードLEDが点滅 (FM)

# テレビストリーマー

Cochlear Wireless TV Streamer (テレビストリーマー) は、テレビ、サウンドシステム、またはコンピュータからのステレオ音声をサウンドプロセッサに直接ストリーミングします。

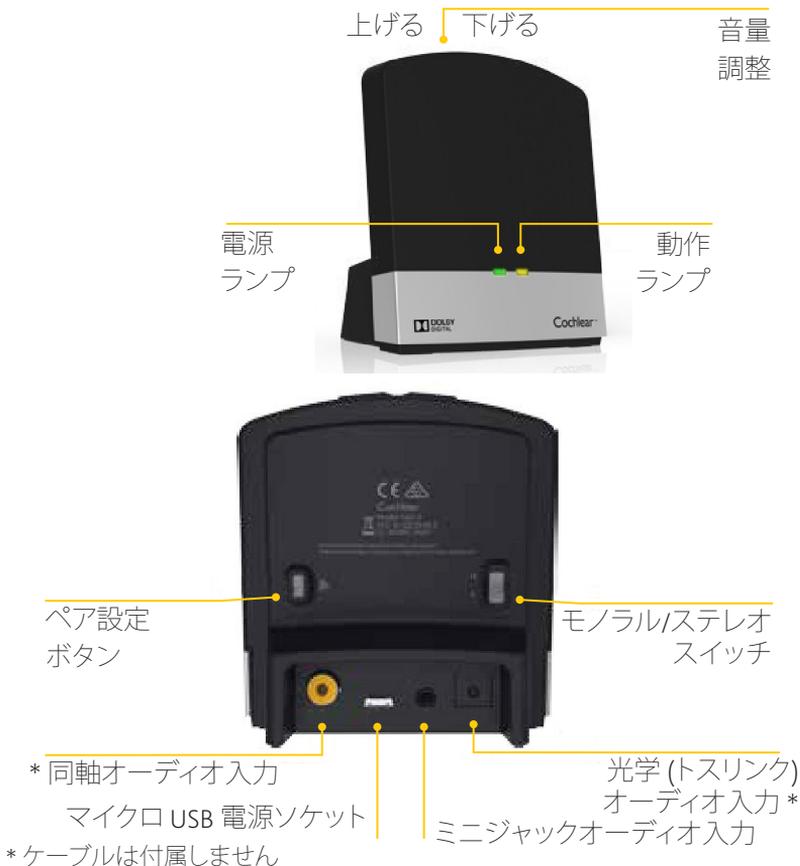


図 5: テレビストリーマー

## 動作特性

特性	値/範囲
動作範囲	最大7メートル
接続が失われた場合の再接続可能時間	5分

## 手順 1: テレビストリーマーのペア設定

最初に、テレビストリーマーとサウンドプロセッサをペア設定して、通信できるようにします。(両側装用の場合は、2 台とも。)

テレビストリーマーをペア設定するには、以下の手順を行ってください。

1. 電源ケーブルをテレビストリーマーのマイクロ USB ソケットに差し込み、コンセントに接続します。
2. オーディオケーブルをテレビストリーマーのミニジャックオーディオ入力ソケットに差し込み、オーディオ機器に接続します。



A.

B.

C.

一般的な接続先は以下のとおりです。(A) テレビまたはステレオ (B) コンピュータのヘッドホン端子 (C) セットトップボックス (SCART 端子)

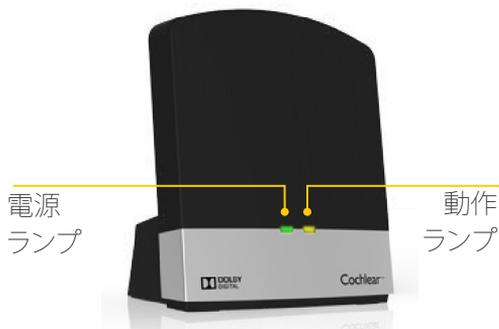
3. テレビストリーマーの電源ランプが緑色に点灯します。
4. サウンドプロセッサを取り外します。

### アドバイス

テレビまたはオーディオ機器のヘッドホンソケットに接続する場合など、接続方法によっては装用者以外に音声が聞こえなくなる場合があります。

装用者と周囲の人が同時にテレビの音を聞きたい時は、テレビの取扱説明書を参照して設定方法を確認してください。

5. サウンドプロセッサの電源を**切ります**。(両側装用の場合は、2台とも。)
6. テレビストリーマーのペア設定ボタンを1回押します。



動作ランプが 20 秒間オレンジ色に点滅します。テレビストリーマーとペア設定するには、この 20 秒間にサウンドプロセッサの電源を入れてください。

7. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。正常にペア設定されると、青色の表示ランプ  が短く点滅します。
8. ここで、サウンドプロセッサを元に戻します。

テレビストリーマーを経由して音声を聞くには、音声をストリーミングする必要があります。

**手順 2: 「テレビストリーマーから音声をストリーミングする」に進みます。**

#### アドバイス

ペア設定後にサウンドプロセッサを装着しないと、ランプの青色の点滅がオレンジ色に変わります。

## 手順 2:テレビストリーマーから音声をストリーミングする

テレビストリーマーから音声をストリーミングするには、以下の3つの方法があります。

- オプション 1:Nucleus リモートアシスタントを使用する
- オプション 2:Nucleus リモートコントロールを使用する
- オプション 3:サウンドプロセッサを使用する

### オプション 1:Nucleus リモートアシスタントを使用する

1. オーディオ機器 (コンピュータ、ステレオ、テレビなど)の電源が**入っている**ことを確認します。
2. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。
3. リモートアシスタントの電源を**入れます**。**ホーム**画面が表示されます。
4. テレビストリーマーの電源を**入れます**。
5. ストリーミングを開始するには、以下の2つの方法があります。
  - **方法 1:**テレコイルボタンを2秒間**長押し**してから**離します**。これにより、チャンネル1から音声がストリーミングされます。

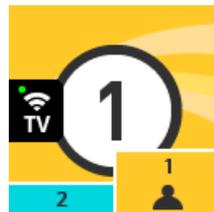
#### ヒント

使いやすさの点から、リモートアシスタントを使用してストリーミングすることをお勧めします。



テレコイル  
ボタン

テレビストリーマーのアイコンが**ホーム**画面に表示されます。



- **方法2:**ホーム画面が表示されている状態から、**[ストリーム]** 選択画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。使用するチャンネルまでリストを下にスクロールして **OK** を押します。



6. ストリーミングを停止するには、以下のいずれかを実行します。
- テレコイルボタンを**短く押す**か
  - **[ストリーム]** 選択画面で **[オフ]** を選択します。



## オプション 2:Nucleus リモートコントロールを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。
2. リモートコントロールの電源を**入れます**。
3. テレビストリーマーの電源を**入れます**。
4. テレコイルボタンを 2秒間**長押ししてから離します**。
5. ストリーミングを停止するには、**テレコイルボタンを短く押します**。



## オプション 3:サウンドプロセッサを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。
2. テレビストリーマーの電源を**入れます**。
3. サウンドプロセッサのボタンを 2 秒間**長押ししてから離します**。音声が生 streaming されていれば、サウンドプロセッサのランプが青色に  点滅します。
4. ストリーミングを停止するには、**サウンドプロセッサのボタンを短く押します**。

## テレビストリーマーの音量を調整するには

音量を調整するには、テレビストリーマーの音量調整を使用します。テレビやオーディオの設定によっては、この音量が他者に聞こえる音量と別になっていることがあります。



## 遅延調整可能モード

まれに、以下の間にずれが生じる場合があります。

- サウンドプロセッサにストリーミングされた音声と、テレビのスピーカから出力される音声 (エコー)、または
- ストリーミングされた音声とテレビ画像 (リップシンク)。

音声が遅延している場合、テレビストリーマーで調整することができます。詳細については、テレビストリーマーに同梱された取扱説明書をご参照ください。

# フォンクリップ

Cochlear Wireless Phone Clip (フォンクリップ) を衣服に装着すると、Bluetooth 機器にワイヤレスでアクセスし、以下のような使い方ができます。

- 携帯電話でハンズフリー通話をする
- Bluetooth 対応のナビゲーションシステムを聞く
- Bluetooth 対応機器から音楽をストリーミングする



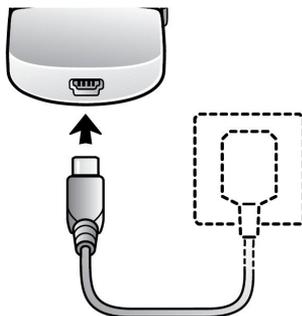
図 6: フォーンクリップ

## 動作特性

特性	値/範囲
動作範囲 (サウンドプロセッサとフォンクリップ間)	最大 3 メートル
動作範囲 (電話とフォンクリップ間)	最大 7 メートル
フル充電時の最長会話可能時間	約 6 時間
接続が失われた場合の再接続可能時間	30 秒間

## フォンクリップの充電

1. マイクロ USB 充電ケーブルをフォンクリップの底部に差し込みます。
2. 付属のアダプタを使用して、ケーブルのもう片方の端を電源コンセントに差し込みます。



3. 充電中は、LED ランプが赤色に点灯します。フル充電されると、緑と赤で交互に 2 秒ごとに点滅します。
4. フォンクリップを初めて充電する場合は、ランプがフル充電を示していても、3 時間以上充電してください。

音声ストリーミングを行っている時に着信があると、電話が優先されます。電話に応答するか拒否するか、どちらかの操作をしてください。

### アドバイス

使用しない場合は、フォンクリップの電源を切り、充電しておくようにしてください。フォンクリップの公称音声通信可能時間は 6 時間 (スタンバイ状態で 80 時間) です。



## 手順 1: フーンクリップのペア設定

最初に、フーンクリップとサウンドプロセッサの間で通信ができるようにするためのペア設定をします。

**手順 1a: 以下の方法で、サウンドプロセッサをフーンクリップとペア設定します。**

1. サウンドプロセッサを取り外します。
2. サウンドプロセッサの電源を**切ります**。(両側装用の場合は、2台とも。)
3. フーンクリップの電源を**入れます**。電源が入ると、フーンクリップ上部のLEDランプが緑色に点滅します。



4. フーンクリップの底部にある銀色のカバーを下にスライドさせて取り外します。
5. ペンを使用して、フーンクリップの裏面にある白色のペア設定ボタンを押します。20秒以内にサウンドプロセッサ(両側装用の場合は、2台とも)の電源を入れると、フーンクリップとサウンドプロセッサがペア設定されます。

### アドバイス

互換性のある GN ReSound 補聴器を片耳に装着し、もう一方に人工内耳を装着する場合は、フーンクリップのペア設定可能時間内に、最初に補聴器をペア設定してから、人工内耳をペア設定します。

サウンドプロセッサペア設定ボタン



- サウンドプロセッサの電源を**入れます**。正常にペア設定されると、青色の表示ランプ  が短く点滅します。
- ここで、サウンドプロセッサを元に戻します。

### アドバイス

ペア設定後にサウンドプロセッサを装着しないと、ランプの青色がオレンジ色に変わります。



### 手順 1b: 次に、以下の方法で、携帯電話をフォンクリップとペア設定します。

- 携帯電話の Bluetooth をオンにします。
- フォンクリップの背面にある青色のペア設定ボタンを押します。フォンクリップ上部の LED が 2 分間青色に点灯します。このランプが青色の間に、携帯電話とフォンクリップをペア設定してください。



携帯電話ペア  
設定ボタン

- 携帯電話で、Bluetooth 機器のリストから [Hearing Aid Phone (補聴器用電話)] を選択します。
- フォンクリップの底部に銀色のカバーを戻します。

これでフォンクリップを使用できます。手順 2: 「フォンクリップの使用」に進みます。

## 手順 2: フォーンクリップの使用

電話をいつものように使用して、発信、応答、通話終了が行えます。唯一の違いは、音声サウンドプロセッサに自動的にストリーミングされるということです。

### 通話について

- **着信に応答する:**電話を受ける/切るボタンを押します。
- **着信を拒否する:**電話を受ける/切るボタンを2回押します。
- **電話をかける:**電話を受ける/切るボタンを2秒間長押ししてから離します。音声コマンドを使用して電話をかけます。
- **電話を切る:**電話を受ける/切るボタンを短く押します。



電話を受ける/  
切るボタン

### アドバイス

より詳細な機能については、フォーンクリップに同梱されている取扱説明書をご参照ください。

### ヒント

性能を最適に保つために、フォーンクリップは口元から30 cm 以内の場所に縦向き装着してください。フォーンクリップには、回転クリップが付属しているため、垂直方向に容易に回転させることができます。

### アドバイス

SMS (ショートメッセージ) 受信時など、フォーンクリップが音声信号を受信して、アラーム音が聞こえることがあります。これは、電話でマナーモードを使用するか、電話の通知をオフにすることで、無効にできる場合があります。詳細については、お使いの電話の取扱説明書をご参照ください。

フォーンクリップから音声をストリーミングしている時は、リモートアシスタントのホーム画面に Bluetooth アイコンが表示されます。



## Bluetooth 対応機器から音楽をストリーミングする方法は、以下のとおりです。

1. Bluetooth を使用して、機器 (携帯電話またはコンピュータなど) をフォーンクリップにワイヤレス接続 (ペア設定) します。
2. 機器で音楽を再生します。サウンドプロセッサで音声がかかります。
3. ストリーミングを停止するには、機器で音楽の再生を停止します。



### ヒント

音量を変更するには、フォーンクリップの音量調整を使用します。

# 複数のアクセサリの使用

サウンドプロセッサは、複数のワイヤレスアクセサリとペア設定できます。各アクセサリに専用の「チャンネル」を割り当てる必要があります。

本書の指示に従って、既にワイヤレスアクセサリをペア設定している場合は、それがチャンネル1になります。

他のアクセサリにペア設定するには、空きチャンネルを選択してください。

サウンドプロセッサには、ミニマイクロホンやテレビストリーマーとペア設定できるチャンネルが3つあります。

スクリーンショットでは、リモートアシスタントの [ストリーム] 選択画面で、ミニマイクロホンがチャンネル1に、テレビストリーマーがチャンネル2にペア設定されています。

## ヒント

リモートアシスタントの [ストリーム] 選択画面を使用して、割り当て済みのチャンネルを表示します。

### ストリーム



## 複数のワイヤレスアクセサリをペア設定するには

ミニマイクロホンやテレビストリーマーとペア設定する場合、空きチャンネルを選択します。(または、新しくペア設定するアクセサリを使用中のチャンネルに割り当て直します。)

サウンドプロセッサをワイヤレスアクセサリとペア設定していない場合は、ワイヤレスアクセサリのペア設定ボタンを1回押して、チャンネル1にペア設定します。

- 2回押すと、チャンネル2に設定されます。
- 3回押すと、チャンネル3に設定されます。

## アドバイス

フォーン クリップは専用チャンネルを使用しているため、ペア設定時にチャンネルを選択する必要はなく、[ストリーム] 選択画面には表示されません。

## 複数のワイヤレスアクセサリで音声をストリーミングするには

ワイヤレスアクセサリがチャンネル1でペア設定されている場合:

1. サウンドプロセッサのボタンを 2 秒間**長押ししてから離します**。音声がストリーミングされていれば、サウンドプロセッサのランプが青色に  点滅します。
2. ストリーミングを停止するには、サウンドプロセッサのボタンを**短く押します**。

ワイヤレスアクセサリがチャンネル2でペア設定されている場合:

- サウンドプロセッサのボタンを 2 秒間**長押ししてから離します**。チャンネル2からストリーミングされるまで、**この手順を繰り返します**。

ワイヤレスアクセサリがチャンネル3でペア設定されている場合:

- サウンドプロセッサのボタンを 2 秒間**長押ししてから離します**。チャンネル3からストリーミングされるまで、**この手順を繰り返します**。

# アクセサリのミキシング比率の変更

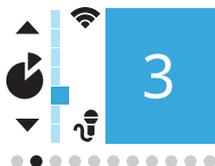
## アドバイス

この操作は、リモートアシスタントをアドバンスモードで使用している場合にのみ行えます。

ワイヤレスアクセサリとサウンドプロセッサマイクロホンの音声のミキシング比率を調整するには、以下の手順を行ってください。

1. リモートアシスタントに**ホーム**画面が表示されている状態から、**[設定]**画面が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**OK** ボタンを押します。
2. **[アクセサリミキシング比率]**画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。**OK** を押します。

アクセサリ|ミキシング比率



3. **上または下矢印ボタン**を押してミキシング比率を変更します。

詳細については、リモートアシスタントの取扱説明書をご参照ください。

# ワイヤレスマイクロホンの性能確認

サウンドプロセッサマイクロホンから受信した信号レベルと、ミニマイクロホン (MM) や FM 機器などのリモートマイクロホンから受信した信号を測定して比較することができます。

この測定は以下の場合に役立ちます。

- FM システムを設定する
- リモートマイクロホンが意図した効果を発揮していることを確認する

リモートアシスタントに、[アドバンテージ] 画面を表示するには、以下の手順を行ってください。

## アドバイス

以下の手順を行う前に、周囲に雑音がない静かな場所を選択することが重要です。



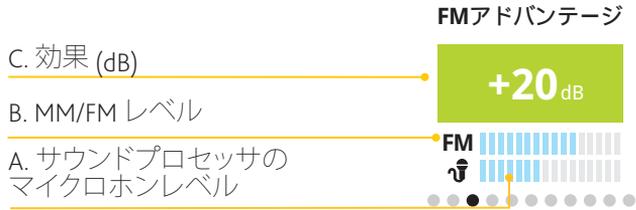
1. リモートアシスタントに**ホーム**画面が表示されている状態から、**[設定]** 画面が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**OK** ボタンを押します。



2. **[MM/FM アドバンテージ]** 画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。**OK** を押します。



[MM/FM アドバンテージ] 画面には、3 つの要素があります。



- A. 下部には**サウンドプロセッサマイクロホンレベル**を示す棒グラフが表示されます。
- B. 中央には**MM/FM レベル**を示す棒グラフが表示されます。これが、ワイヤレスアクセサリのサウンドレベルです。

#### アドバイス

ボタンが 2 つあるサウンドプロセッサの場合、ワイヤレスアクセサリを使用するには上側のボタンを使用します。

- C. リモートマイクロホンからの入力とサウンドプロセッサのマイクロホンからの入力の差をデシベル (dB) で測定します。この数値は、装用者がリモートマイクロホンから得られる**聴こえの効果 (dB 単位)**を示しています。数値がマイナスの値になる場合、リモートマイクロホンの音量を調整する必要があるか、測定中に背景雑音が多すぎることを考えられます。

# お手入れとメンテナンス

## ワイヤレスアクセサリのお手入れ

- Cochlear ワイヤレスアクセサリのお手入れには、湿った布を使用してください。家庭用洗剤 (粉状の洗濯用洗剤、石けんなど) やアルコールは使用しないでください。
- ワイヤレスアクセサリを使用していない時は、電源を切り、安全な場所に保管してください。
- 過度の湿気 (入浴、水泳) および熱 (暖房装置、車のダッシュボード) にワイヤレスアクセサリをさらさないようにしてください。
- 過度の衝撃や振動を与えないでください。
- マイクロホンと充電ケーブルのソケットにごみや汚れが付着しないようにしてください。
- テレビストリーマーを長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

## 内蔵電池のお手入れ

フオーンクリップとミニマイクロホンは充電電池で動作します。

- 新しい充電電池は、完全な充放電サイクルを 2 ～ 3 回繰り返すと、最適に機能するようになります。
- 充電電池は数百回充放電できますが、最終的には消耗して充電できなくなります。
- 充電ケーブルを使用していない時は、電源コンセントと製品から充電ケーブルを抜いてください。
- フル充電した充電電池を使用せずに放置すると、時間とともに放電します。
- 製品を暑い場所に放置すると、充電電池の容量と寿命が低下します。
- 製品に低温の電池を入れると、フル充電されていても、一時的に動作しない場合があります。特に氷点下では、電池の性能が著しく低下します。

## 充電器のお手入れ

製品に充電ケーブルが付属している場合は、以下のことに注意してください。

- 充電する際は、付属の AC アダプタ以外のものを使用しないでください。他の充電器を使用すると、製品が破損する可能性があります。他の充電器を使用した場合、認証および保証が無効になることがあります。
- 認証済みアクセサリが使用可能かどうかについては、病院の先生にご確認ください。
- 製品の充電は、記載された指示に従ってください。

# 保証

Cochlear True Wireless アクセサリの保証期間は1年です。

標準保証条件および制限の詳細については、Nucleus の保証書を参照してください。

# 認証

Cochlear Bone Anchored Solutions AB、Mölnlycke Sweden は、Cochlear ワイヤレスアクセサリの法的製造会社です。

Cochlear Limited は、Nucleus 6 システムでの Cochlear ワイヤレスアクセサリの使用に関するテストと検証を実施しています。

# 注意



## 警告

各製品に関する警告と使用上の注意については、ワイヤレスアクセサリに同梱されている取扱説明書を参照してください。

- ワイヤレス機能を有効にすると、サウンドプロセッサはデジタル方式で符号化された低出力の信号を送信して、ワイヤレスアクセサリと通信します。ごくまれに、周囲の電子機器が影響を受ける可能性があります。その場合は、影響を受けた電子機器からサウンドプロセッサを離してください。
- ワイヤレス機能の使用時に機器が電磁干渉の影響を受ける場合は、干渉源から離してください。
- Cochlear True Wireless アクセサリは無線 (RF) 送信機を搭載しており、2.4 ~ 2.48 GHz の範囲で動作します。高周波放出が禁止されているエリアでは、ワイヤレス機能をオフにしてください。
- MRI (磁気共鳴画像) 検査を受ける場合は、「警告と予防措置の手引き」の MRI セクションに記載されている MRI の安全情報を参照してください。この手引きは、[www.cochlear.com/warnings](http://www.cochlear.com/warnings) または最寄りの Cochlear オフィス (連絡先は本書の裏表紙に記載) で入手できます。





# Cochlear™

## Cochlear True Wireless Accessories:

 **Cochlear Bone Anchored Solutions AB** Konstruktionsvägen 14, SE - 435 33 Mölnlycke, Sweden  
Tel: +46 31 792 44 00 Fax: +46 31 792 46 95

## Nucleus Sound Processor Systems:

 **Cochlear Ltd** (ABN 96 002 618 073) 1 University Avenue, Macquarie University, NSW 2109, Australia  
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

**Cochlear Ltd** (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove, NSW 2066, Australia  
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

## Regional Offices:

 **Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG** Karl-Wiechert-Allee 76A, 30625 Hannover, Germany  
Tel: +49 511 542 770 Fax: +49 511 542 7770

**Cochlear Americas** 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA  
Tel: +1 303 790 9010 Fax: +1 303 792 9025

**Cochlear Canada Inc** 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1, Canada  
Tel: +1 416 972 5082 Fax: +1 416 972 5083

**Cochlear AG** EMEA Headquarters, Peter Merian-Weg 4, 4052 Basel, Switzerland  
Tel: +41 61 205 0404 Fax: +41 61 205 0405

**Cochlear Europe Ltd** 6 Dashwood Lang Road, Bourne Business Park, Addlestone, Surrey KT15 2HJ, United Kingdom  
Tel: +44 1932 26 3400 Fax: +44 1932 26 3426

**Cochlear Benelux NV** Schaliënhoevedreef 20 i, B-2800 Mechelen, Belgium  
Tel: +32 15 79 55 11 Fax: +32 15 79 55 70

**Cochlear France S.A.S.** 135 Route de Saint-Simon, 31035 Toulouse, France  
Tel: +33 5 34 63 85 85 (International) or 0805 200 016 (National) Fax: +33 5 34 63 85 80

**Cochlear Italia S.r.l.** Via Larga 33, 40138 Bologna, Italy  
Tel: +39 051 601 53 11 Fax: +39 051 39 20 62

**Cochlear Nordic AB** Konstruktionsvägen 14, 435 33 Mölnlycke, Sweden  
Tel: +46 31 335 14 61 Fax: +46 31 335 14 60

## Cochlear Tıbbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Şti.

Çubuklu Mah. Boğaziçi Cad., Boğaziçi Plaza No: 6/1, Kavacık, TR-34805 Beykoz-Istanbul, Turkey  
Tel: +90 216 538 5900 Fax: +90 216 538 5919

**Cochlear (HK) Limited** Room 1204, 12/F, CRE Building, No 303 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong SAR  
Tel: +852 2530 5773 Fax: +852 2530 5183

**Cochlear Korea Ltd** 1st floor, Cheongwon Building 33, Teheran-ro 8 gil, Gangnam-gu, Seoul, Korea  
Tel: +82 2 533 4450 Fax: +82 2 533 8408

## Cochlear Medical Device (Beijing) Co., Ltd

Unit 2208-2212, Tower B, Gemdale Building, 91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022, P.R. China  
Tel: +86 10 5909 7800 Fax: +86 10 5909 7900

## Cochlear Medical Device Company India Pvt. Ltd.

Ground Floor, Platina Building, Plot No C-59, G-Block, Bandra Kurla Complex, Bandra (E), Mumbai – 400 051, India  
Tel: +91 22 6112 1111 Fax: +91 22 6112 1100

**株式会社日本コクレア (Nihon Cochlear Co Ltd)** 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル  
Tel: +81 3 3817 0241 Fax: +81 3 3817 0245

## Cochlear Middle East FZ-LLC

Dubai Healthcare City, Al Razi Building 64, Block A, Ground Floor, Offices IR1 and IR2, Dubai, United Arab Emirates  
Tel: +971 4 818 4400 Fax: +971 4 361 8925

## Cochlear Latinoamérica S.A.

International Business Park, Building 3835, Office 403, Panama Pacifico, Panama  
Tel: +507 830 6220 Fax: +507 830 6218

## Cochlear NZ Limited

Level 4, Takapuna Towers, 19-21 Como St, Takapuna, Auckland 0622, New Zealand  
Tel: +64 9 914 1983 Fax: 0800 886 036

[www.cochlear.com](http://www.cochlear.com)

ACE, Advance Off-Stylet, AOS, AutoNRT, Autosensitivity, Beam, Button, Carina, Cochlear, Cochlear SoftWear, コクレア, Codacs, Contour, Contour Advance, Custom Sound, ESprit, Freedom, Hear now.And always, Hugfit, Hybrid, inHear, Invisible Hearing, Kanso, MET, MicroDrive, MP3000, myCochlear, mySmartSound, NRT, Nucleus, 科利耳, Off-Stylet, SmartSound, Softip, SPrint, True Wireless, 楕円形のロゴ, Whisper は, Cochlear Limited の商標または登録商標です, Ardiun, Baha, Baha SoftWear, BCDrive, DermaLock, EveryWear, Vistafix および WindShield は, Cochlear Bone Anchored Solutions AB の商標または登録商標です。Bluetooth は, Bluetooth SIG の登録商標です。

© Cochlear Limited 2017

Hear now. And always

D782028 ISS2  
Japanese translation of D777358 ISS6 JUN17